

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和 6 年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 4 月 30 日

団体名 一般社団法人 ViVarsity

代表者 長尾 晴香

構成員 32 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 「日本人」や「外国人」という区別なく、同じ地域に暮らす一員として、ことばや文化・習慣の違いを理解し、お互い助け合っている関係づくりを行うことで、誰もが「住んでよかった、Viva (=バンザイ)」と思える「Diversity (=多様性)」のある地域社会を目指しています。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
2024 年 4 月 ~ 2025 年 3 月	りぶら	外国人市民 日本人市民	520 名	外国ルーツの小・中学生を対象に学校の教科や日本語の学習のサポートを行なった。
2023 年 5 月 12 日	岡崎市内	外国人市民 日本人市民	15 名	外国人と日本人と一緒に祭りに参加し、日本文化理解や地域に関わる機会とした。
2023 年 9 月 29 日	りぶら	外国人市民	6 名	日本の年金制度についての理解を深め、老後に備えるべきことを考える機会とした。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

愛知県内で第4番目に外国人が多く住んでいる岡崎市において、同じ地域に暮らす外国人との接点づくりや、日本の学校で学んでいる外国ルーツの子どもたちの支援は、地域としても重要な課題になっており、当団体の活動は地域課題に大きく貢献していると考えられる。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

外国ルーツの子ども向けの教室を通年で開催でき、大学に進学する高校生のサポートも実施できた。また、2024 年度も高校生から年配の方まで幅広い地域住民の方にボランティアとして関わってもらうことができ、岡崎市における多文化共生の実現と理解促進を行う事ができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。

このページは、一般公開されません